

新しい茨城づくり

茨城県総合計画審議会

- 1 最近の茨城県の動き
- 2 「新しい茨城づくり」政策ビジョン

平成30年2月5日
茨 城 県

1 最近の茨城県の動き



圏央道県内全線開通

- ◇2017.2.26県内区間全線開通
- ◇2021年度予定 つくばスマートIC新設
- ◇2022～2024年度予定 **4車線化**
県内区間を含めた東北自動車道から東関東自動車道までを4車線化

東関東自動車道水戸線 「鉾田IC～茨城空港北IC」開通

◇2018.2.3開通

- ・車線数 : 暫定2車線 ・開通延長: 8.8km
- ・JR水戸駅への所要時間が鉾田市から約7分、県内全線が開通すると、潮来市から約20分短縮※

※NEXCO東日本発表



JR常磐線上野東京ライン H29.10.14ダイヤ改正

- ◇品川駅発着の**特急列車が16本増（44本→60本）**
普通列車が30本増（34本→64本）

- ・朝の通勤時間帯における土浦方面からの列車の乗り入れが実現

- ◇品川駅発着の普通列車全てが土浦～品川間で15両化
- ・1編成当たり680人の定員増（10両編成と比較）



つくばエクスプレス H30.3.17ダイヤ改正

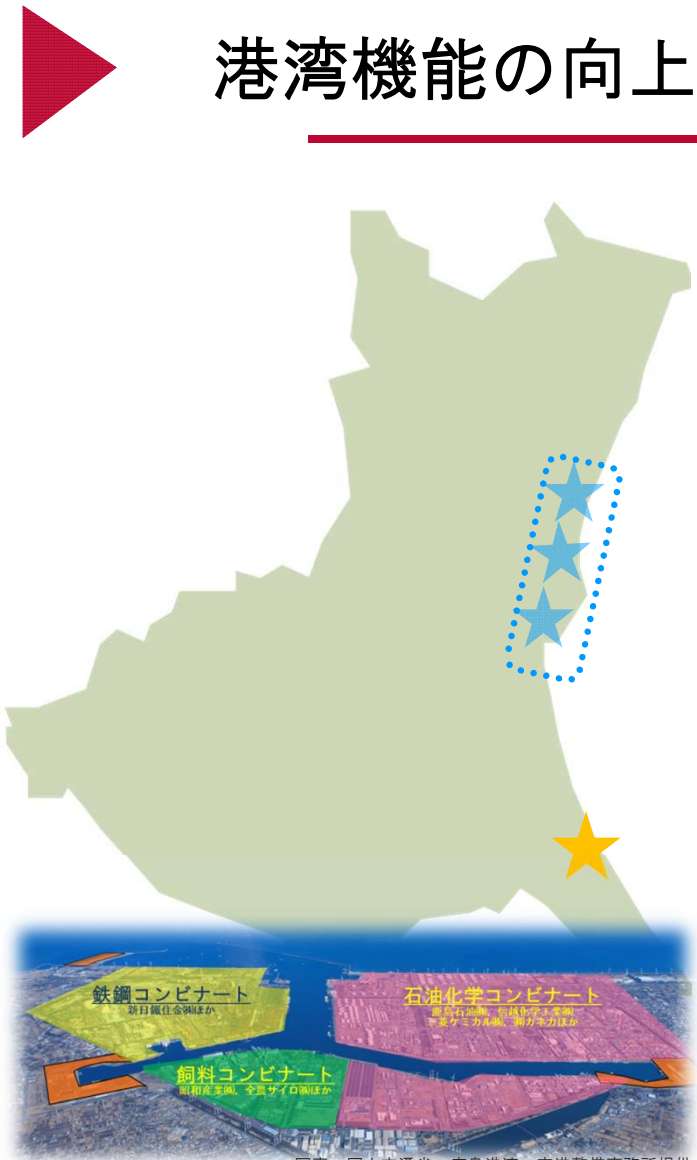
- ◇県内各駅から**快速乗継で利便性が向上**

- ・県内で快速が停車しない駅の快速乗り換え駅が、流山おおたかの森から守谷駅となることで、秋葉原までの所要時間が最大2分短縮

- ◇秋葉原～守谷間の各駅停車が上下6本ずつ増発



港湾機能の向上



写真：国土交通省 鹿島港湾・空港整備事務所提供

◇茨城港 Ibaraki Port

☆日立港区 Hitachi District

- ・日産自動車，メルセデスベンツの輸出入拠点
- ・東京ガスLNG基地によるエネルギー拠点

☆常陸那珂港区 Hitachinaka District

- ・国際海上コンテナターミナル
- ・コマツ，日立建機やSUBARUの輸出拠点

☆大洗港区 Oarai District

- ・フェリーの運航（苫小牧—大洗 週12便）
- ・クルーズ船の寄港

◇鹿島港 Kashima Port

- ・国内最大級のコンビナートの海上輸送基地



首都圏第3の空港として知名度が向上

◇台湾との7ヶ月間のプログラムチャーター便運航決定

- ・ 航空会社 タイガーエア台湾
- ・ 運航路線 茨城ー台北（桃園国際空港）
- ・ 運航期間 H30.3.26（月）～ 10.25（木）
- ・ 運航便数 週2便

◇茨城ー韓国（ソウル）の連続チャーター便運航決定

- ・ 航空会社 イースター航空
- ・ 運航路線 茨城ーソウル（仁川国際空港）
- ・ 運航期間 H30.2.15（木）～ 3.3（土）
- ・ 運航便数 週3便（火曜日・木曜日・土曜日） 計8往復（7ツアー）

◇国内便4路線が継続運航（スカイマーク夏季運航ダイヤ）

- ・ 期間 H30.3.25（日）～10.27（土）
（札幌2便/日，神戸2便/日，福岡1便/日，那覇（直行）1便/日）

◇上海便は高い搭乗率を維持（春秋航空 週6便）



リニアの開業

2027年 品川ー名古屋間供用予定 (2037年 大阪延伸)

◇リニアのインパクト

- ・ 6千万人の大交流都市圏が誕生

〔東京圏の国際的機能, 名古屋圏の世界最先端のものづくり, 大阪圏の歴史・商業機能〕

➡ スーパー・メガリージョンの形成

- ・ 知の拠点（筑波研究学園都市と関西文化学術研究都市（けいはんな））を繋ぐナレッジ・リンクの形成
- ・ 大交流都市圏における茨城のプレゼンス向上

「国土のグランドデザイン2050」の基本戦略

(3)スーパーメガリージョンと新たなリンクの形成④ ~ナレッジ・リンクの形成~ 国土交通省

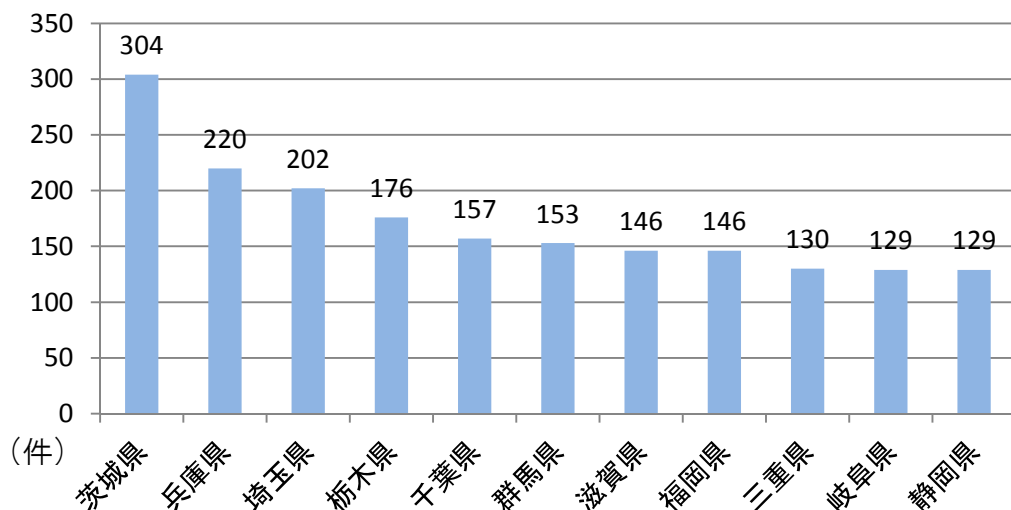


県外企業立地の促進

◇ H29（上期）の県外企業立地件数 ⇒ **全国第1位**

◇ 過去10年間の工場立地面積，県外企業立地件数 ⇒ **全国第1位**

【過去10年間の県外企業立地件数（*製造業等(電気業を除く)】



【H29上期主な立地企業】

- 郡リース(株) 鉄骨系プレハブ建築物の製造等
〔4.1ha 坂東市／坂東インター工業団地〕
- 雪印メグミルク(株) プロセスチーズなどの製造
〔2.8ha 阿見町／阿見東部工業団地〕
- セントラル硝子(株) ガラス製品，化学製品等の製造加工等
〔3.6ha つくば市／つくばエクスプレス沿線（萱丸地区）〕
- 日晃工業(株) 自動車用の遮音材などの製造
〔2.0ha 坂東市／坂東インター工業団地〕

農 業

農業産出額 9年連続全国第2位

- ◇農業産出額 : **全国2位** (H28: 4,903億円)
- ◇東京都中央卸売市場における青果物の取扱高 : **全国1位** (H29: シェア10.6%)
- ◇耕地面積 : **全国3位** (H28: 169,200ha)
- ◇農業就業人口 : **全国2位** (H27: 89千人)
- ◇販売農家数 : **全国1位** (H27: 57千戸)



飯沼栗が地理的表示 (GI) 保護制度に登録

- ◇本県産品では「江戸崎かぼちゃ」に次ぐ2品目の登録
 - ・登録番号: 第38号
 - ・登録日 : 平成29年6月23日
 - ・生産団体: 下飯沼栗生産販売組合
 - ・生産地 : 東茨城郡茨城町



1つの穂 (イガ) に1つの果実
実の大きさ、甘さが特徴

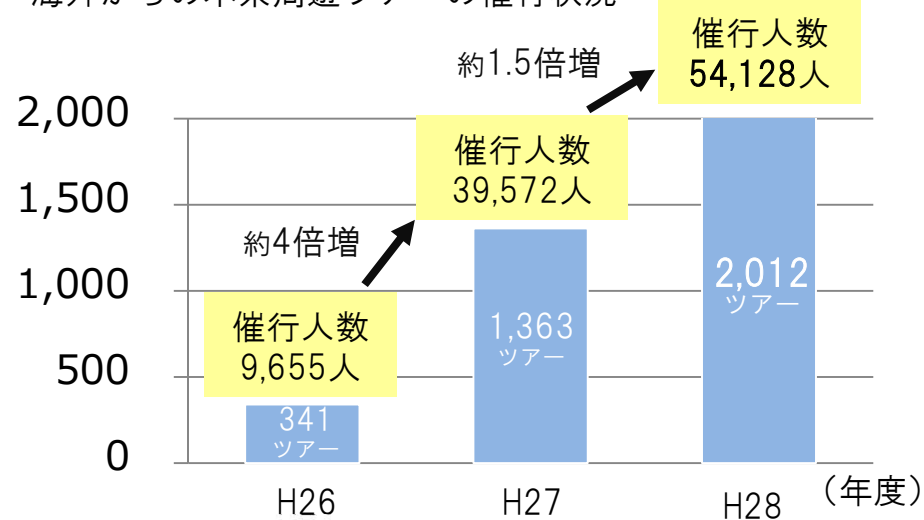
観光

外国人観光客が増加傾向

◇H28 海外から本県への周遊・宿泊
ツアー催行数は**2,012** (54,128人)

・ H28本県への外国人来訪者数※は259千人 (H27 235千人)
※訪日外客数 (JNTO) 及び「訪日外国人消費動向調査」 (観光庁) により
算出した、本県に来訪する外国人の推計人数と、茨城空港入国外国人数の合算

海外からの本県周遊ツアーの催行状況



大規模イベント

2018 国際情報オリンピック，世界湖沼会議の開催

- ◇ 9月 国際情報オリンピック※ 本県で日本初の開催
- ◇ 10月 世界湖沼会議 本県で23年ぶり開催

※世界中の中等教育課程の生徒・学生を対象とした，数理情報科学（プログラミング等）の能力を競う大会。約85カ国が参加予定。



2019 茨城国体・障害者スポーツ大会の開催

- ◇ 県内全44市町村で競技を実施
- ◇ イメージソングやダンス等を活用しながら機運醸成
・2017.12.9開催のダンスコンテストには総勢44チーム（約500名）が参加



2020 東京2020オリンピック競技大会 茨城カシマスタジアムがサッカー競技会場に

- ◇ 2017.7 IOC理事会で決定
- ・2017.11に関係団体等による官民一体推進組織
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会茨城県推進会議」設立



県のイメージアップ

地域ブランド調査2017

(2017.10公表 ブランド総合研究所)

◇主要項目

項目	2017	2016	2015	2014	2013
魅力度	47	47	47	47	47
認知度	26	24	39	31	29
情報接触度	27	24	41	31	31
居注意欲度	32	35	34	38	42
観光意欲度	47	47	47	47	47
愛着度	44	43	44	41	46
自慢度	45	44	46	42	46

◇上位項目

項目	2017
IT・先端技術の地域	4
学術・芸術の地域	3
道路や交通の便が良い	11
スポーツの参加・観戦が楽しめる	13
道の駅や農産品直売所	14
ご当地キャラクター(ゆるキャラなど)	6
ご当地アイドル	6

住みよさランキング2017

(2017.6公表 東洋経済新報社)

◇上位100位以内に6市がランクイン

市町村名	総合評価 全国順位	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
守谷市	10	726	18	25	65	436
つくば市	12	204	36	21	45	726
神栖市	41	287	294	241	30	554
かすみが うら市	53	127	46	441	401	308
那珂市	71	453	90	250	443	187
土浦市	100	495	46	249	179	583

算出対象：全国814市区（町村は対象外）

【参考】他都道府県との比較

- 首都圏（1都7県）の100位以内ランクイン数 2位
- 全国の100位以内のランクイン数 5位

- 1位：富山県9市
- 2位：愛知県8県
- 3位：千葉県・石川県7市
- 5位：茨城県6市
- 7位：滋賀県・福井県・兵庫県5市

県のイメージアップ

H29県イメージアップ大賞は「ひよっこ」



大賞 連続テレビ小説「ひよっこ」（奥茨城村）

奨励賞 茨城の栗
茨城三大銘茶（奥久慈茶、さしま茶、古内茶）
筑波大学蹴球部

特別賞 株式会社 ブランド総合研究所

※「ひよっこ」はロケーションジャパン大賞特別賞も受賞



りんりんスクエア土浦1F（イメージ）

「りんりんスクエア土浦」H30.3.29オープン

◇全国初の駅直結サイクリング拠点施設

- ・つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線地域全体の交流拠点
- ・自転車の販売，修理，レンタサイクルやシャワー，ロッカー等の機能を完備

茨城国際観光大使創設

えんぶんえい

◇第1号は袁文英氏（EGLツアーズ社長（香港））に委嘱



急激な人口減少

自然減が2年連続で1万人を超過

◇本県人口はH29 1年間で**9,369人の減少**

- ・自然増減は、**11,412人の減少**（記録のある昭和40年以降最多）
- ・社会増減は、**2,043人の増加**（2年連続転入超過）

（単位：人）

	人口 (1/1)
H20	2,971,616
H21	2,968,345
H22	2,967,203
H23	2,968,570
H24	2,954,126
H25	2,944,115
H26	2,931,006
H27	2,919,202
H28	2,915,030
H29	2,905,276

各年1月～12月の増減数				
人口増減 ①=②+③	自然増減 ②	社会増減 ③	うち	
			男性	女性
▲ 3,271	▲ 2,479	▲ 792	592	▲ 1,384
▲ 1,142	▲ 3,371	2,229	2,338	▲ 109
▲ 4,541	▲ 4,325	▲ 216	541	▲ 757
▲ 14,444	▲ 6,453	▲ 7,991	▲ 2,820	▲ 5,171
▲ 10,011	▲ 6,781	▲ 3,230	▲ 377	▲ 2,853
▲ 13,109	▲ 7,767	▲ 5,342	▲ 2,445	▲ 2,897
▲ 11,804	▲ 8,014	▲ 3,790	▲ 1,375	▲ 2,415
▲ 11,543	▲ 9,149	▲ 2,394	44	▲ 2,438
▲ 9,754	▲ 10,145	391	1,638	▲ 1,247
▲ 9,369	▲ 11,412	2,043	-	-

10年間合計

▲ 88,988	▲ 69,896	▲ 19,092	▲ 1,864	▲ 19,271
----------	----------	----------	---------	----------

（注）男女別は9年間（H20～28）の計

H30	2,895,907
-----	------------------

※人口増減は各年1月～12月の茨城県常住人口調査による増減数を記載
 ※H22,27は国勢調査の結果により10月1日現在の人口が確定し、
 そこから新たに人口増減数を積み上げていくため、年間の人口増減数と
 翌年1月1日現在の人口との動きが一致しない。

【人口増減】上位5市町村

順位	市町村	人口増減
1	つくば市	3,235人
2	守谷市	671人
3	つくばみらい市	619人
4	神栖市	420人
5	牛久市	228人

【人口増減】下位5市町村

順位	市町村	人口増減
1	日立市	▲2,183人
2	筑西市	▲ 861人
3	稲敷市	▲ 797人
4	常陸太田市	▲ 790人
5	石岡市	▲ 704人

2 「新しい茨城づくり」 政策ビジョン

平成29年12月26日策定





基本理念

『活力があり，県民が日本一幸せな県』

人口減少時代を迎える中でも，県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ，「茨城に住みたい，住み続けたい」人が大いに増えるような，「活力があり，県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。

基本姿勢

- 県民とともに挑戦する「茨城づくり」

多様な主体との緊密な連携のもと，「新しい茨城づくり」に挑戦します。

- 未来を展望した政策展開

地域の特性や強みを生かし，医療・教育・産業育成など，未来を見据えた政策を展開します。

- 戦略的な行財政運営

スクラップ・アンド・ビルドに不断に取り組むとともに，財源の有効活用や「選択と集中」を徹底します。



新しい4つのチャレンジ

I 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

【挑戦する政策】

- ①科学技術を活用した新産業育成，中小企業の成長支援
- ②質の高い雇用の創出
- ③「強い農林水産業」の実現
- ④かけがえのない自然環境の保全・再生
- ⑤多様な働き方の実現

II 「新しい安心安全」へのチャレンジ

【挑戦する政策】

- ⑥県民の命を守る地域医療・福祉の充実
- ⑦健康長寿日本一
- ⑧障害児・障害者福祉の充実
- ⑨安心して暮らせる社会づくり
- ⑩災害に強い県土づくり

III 「新しい人財育成」へのチャレンジ

【挑戦する政策】

- ⑪次世代を担う「人財」育成
- ⑫教育環境の充実
- ⑬日本一，子どもを産み育てやすい県
- ⑭学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり
- ⑮人権を尊重し，多様性を認め合う社会づくり

IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

【挑戦する政策】

- ⑯魅力度No.1プロジェクト
- ⑰世界に飛躍する茨城へ
- ⑱ビジット茨城 ～新観光創生～
- ⑲茨城国体・全国障害者スポーツ大会，東京オリンピック・パラリンピックの成功
- ⑳発展を支える社会資本の整備と住み続けたいまちづくり



「新しい豊かさ」へのチャレンジ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します

重点施策



戦略的な企業誘致

- ・ 研究施設やIT関連企業など、成長分野の企業の誘致を進めます。
- ・ 東京圏から、本社機能の誘致を図ります。

① 科学技術を活用した新産業育成，中小企業の成長支援

- IoTやAIなどを取り入れた新産業育成
- 医工連携の促進

② 質の高い雇用の創出

- 研究施設・IT関連企業などの誘致
- 東京圏からの本社機能の誘致

③ 「強い農林水産業」の実現

- 儲かる農業の実現
- 県食材の国内外への販路拡大

④ かけがえのない自然環境の保全・再生

- 泳げる霞ヶ浦の実現
- 地球温暖化対策の推進

⑤ 多様な働き方の実現

- 女性が活躍できる環境づくり
- 移住・二地域居住，UIJターンの推進



(出典：(株)ネクステッジテクノロジー)





II 「新しい安心安全」へのチャレンジ

医療，福祉，治安，防災など県民の命を守る生活基盤を築きます

重点施策



医師不足の抜本的解決

高校生，医学生，研修医，医師の各段階に応じた総合的な対策と新たな発想により，医師確保対策に取り組みます。

⑥ 県民の命を守る地域医療・福祉の充実

■新たな発想による医師の確保 ■介護・健康ビジネスの促進

⑦ 健康長寿日本一

■茨城型地域包括ケアシステムの推進 ■認知症予防対策

⑧ 障害児・障害者福祉の充実

■障害者などのキャリア教育の推進 ■就労支援の強化

⑨ 安心して暮らせる社会づくり

■公共交通の維持・確保 ■犯罪の起きにくい社会環境づくり

⑩ 災害に強い県土づくり

■ICTを活用した災害情報の共有化，減災対策 ■危機管理体制の充実





Ⅲ 「新しい人財育成」 へのチャレンジ

茨城の未来を創る「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します

重点施策



グローバル社会で活躍する「人財」育成

小中高等学校において、インターネットを活用した英会話・プログラミング教育を導入します。

⑪次世代を担う「人財」育成

■英会話・プログラミング教育の充実強化 ■就学前教育・家庭教育の推進

⑫教育環境の充実

■魅力ある学校・学科づくり ■少人数教育の充実

⑬日本一，子どもを産み育てやすい県

■待機児童ゼロの実現 ■教育費の負担軽減

⑭学び・文化・スポーツに親しむ環境づくり

■多様な学習機会の提供 ■文化芸術の振興

⑮人権を尊重し，多様性を認め合う社会づくり

■ダイバーシティ社会の構築 ■いじめを生まない社会づくり





IV 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

将来にわたって夢や希望を描ける県とするため、観光創生や魅力度向上を図ります

重点施策



魅力度No.1プロジェクト

新しい手法による情報発信力の強化、本県の魅力の再発掘やブランド化に、戦略的に取り組みます。

⑩ 魅力度No.1 プロジェクト

- 重要PRテーマ「観光誘客」「農林水産物のブランド化」「企業誘致」の戦略的な情報発信
- トップセールスの推進

⑪ 世界に飛躍する茨城へ

- 県産品・工業製品の輸出強化
- 若者への起業教育・ベンチャー支援

⑫ ビジット茨城 ～新観光創生～

- 戦略的な誘客プロモーション
- 里山・海浜リゾートなど新しい観光の創造

⑬ 茨城国体・全国障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功

- 県民総参加の実現
- キャンプ誘致

⑭ 発展を支える社会資本の整備と住み続けたくなるまちづくり

- つくばエクスプレスの県内延伸に向けた検討
- 地域資源を活かした魅力ある地域づくり



©内閣府/茨城県/つくば市



<参考>

茨城県の特徴



地理特性

◇東京から35～160km圏

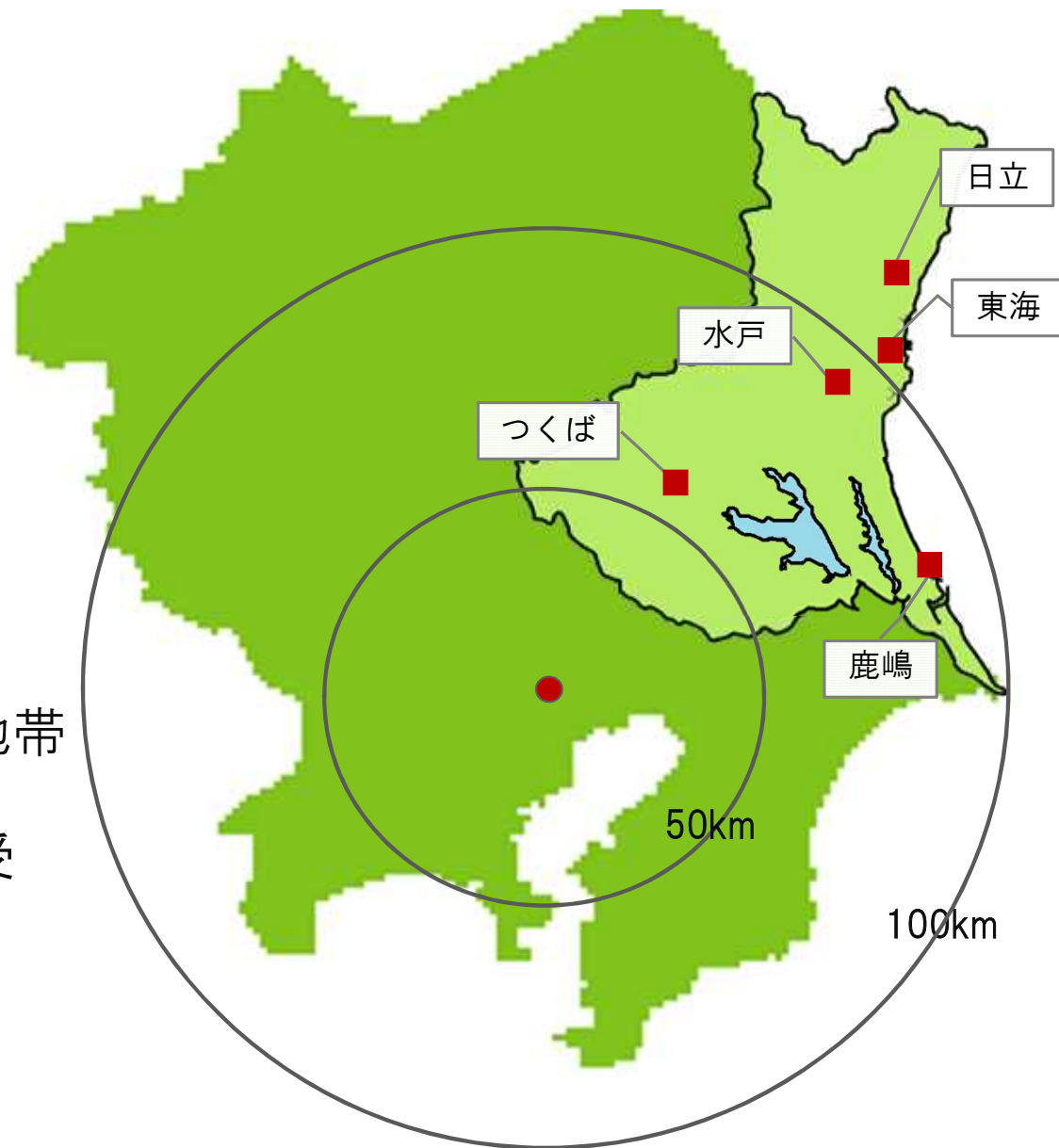
◇温和な気候

◇全国第4位の可住地面積

◇県北地域 優れた自然景観
阿武隈・八溝山系や変化に富んだ海岸線など

◇県央～県南西地域
肥沃な平野が広がる豊かな穀倉地帯

◇都市的な生活と自然の豊かさを享受
できる暮らしやすい環境



茨城県の主要データ

人口	2,905千人	全国第11位 (H28.10.1)
可住地面積	3,974.86km ²	全国第4位 (H27.10.1)
農業産出額	4,903億円	全国第2位 (H28年)
海面の漁獲量	244,372 t	全国第3位 (H28年)
製造品出荷額等	12兆376億円	全国第8位 (H27年)
工場立地面積 (電気業を除く)	1,087ha	全国第1位 (10年間累計 [H19~H28])
つくばの研究者数	20,758人	うち博士号保持者7,995人 (H29.6.20)
1人当たりの県民所得	3,088千円	全国第11位 (H26年)
住宅敷地面積 (1住宅あたり)	424.79m ²	全国第1位 (H25.10.1)
道路実延長	55,690km	全国第2位 (H27.4.1)
医師数 (10万人当たり)	177.7人	全国第46位 (H26年)
合計特殊出生率	1.47	全国第32位 (H28年)

広域交通ネットワーク

◇県土を支える4本の高速道路，鉄道網

【高速道路】

常磐自動車道（常磐道），北関東自動車道（北関東道），
東関東自動車道水戸線（東関東道水戸線），首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

【鉄道】

JR（常磐線，水戸線，水郡線，鹿島線，宇都宮線），鹿島臨海鉄道，
関東鉄道，ひたちなか海浜鉄道，つくばエクスプレス，真岡鐵道

◇首都圏の新たな太平洋ゲートウェイ 2つの重要港湾

茨城港（日立港区，常陸那珂港区，大洗港区），鹿島港

◇首都圏第三の空港

茨城空港



県民経済

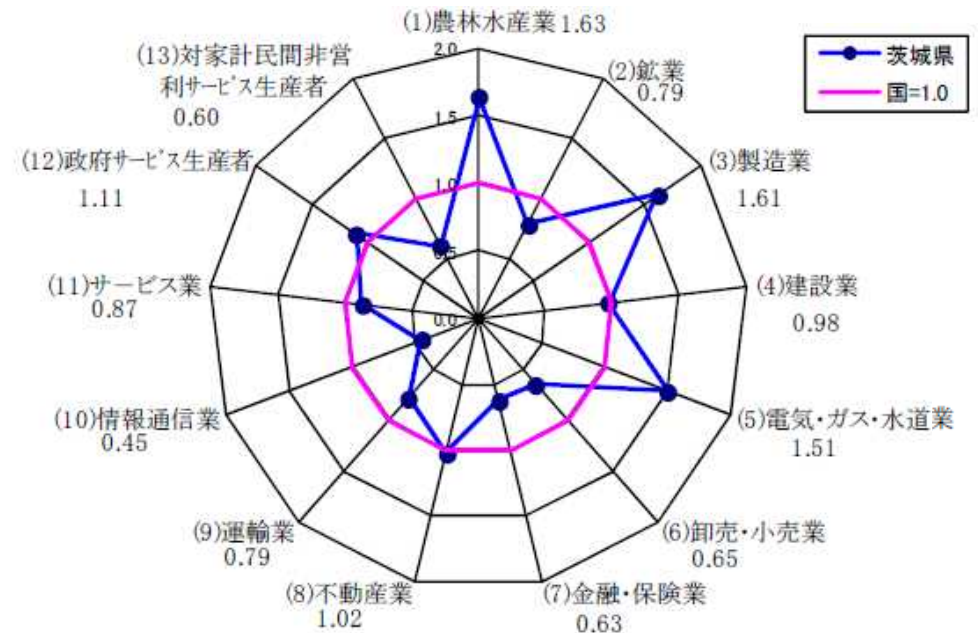
◇H2 6 経済活動別県内総生産（名目）

区分	H26 億円	構成比 %
1. 産業	101,842	87.7
(1)農林水産業	2,206	1.9
a 農業	2,059	1.8
b 林業	30	0.0
c 水産業	118	0.1
(2)鉱業	64	0.1
(3)製造業	34,644	29.8
(4)建設業	6,885	5.9
(5)電気・ガス・水道業	3,457	3.0
(6)卸売・小売業	10,558	9.1
(7)金融・保険業	3,141	2.7
(8)不動産業	13,682	11.8
(9)運輸業	4,586	3.9
(10)情報通信業	2,869	2.5
(11)サービス業	19,748	17.0
2. 政府サービス生産者	11,615	10.0
3. 対家計民間非営利サービス生産者	1,585	1.4
4. 小計（1+2+3）	115,042	99.1
5. 輸入品に課される税・関税	2,069	1.8
6. （控除）総資本形成に係る消費税	988	0.9
7. 県内総生産（4+5-6）	116,124	100.0

区分	H26	構成比
第1次産業	2,206	1.9
第2次産業	41,594	35.8
第3次産業	71,242	61.4

◇経済活動別総生産（名目）特化係数

※特化係数：本県の経済活動ごとの構成比を国と比較し、国から見た相対的な経済活動構成比の大きさを表す指標



産 業



◇つくば・東海 — 最先端の科学技術の集積 —

- つくば
 - ・ H23.12 国際戦略総合特区に指定
 - ・ 国等の研究機関の約3分の1が集積
 - ・ 約2万人の研究者が世界トップレベルの研究活動を推進
- 東海
 - ・ 我が国の原子力研究の中心地
 - ・ 日本原子力研究開発機構、世界最高性能の研究施設 J-PARC などが立地

◇鹿嶋 — 素材産業の集積 —

鹿嶋港を中心に、鉄鋼、飼料、木材、石油化学工業等の素材産業が集積



◇日立 — ものづくり産業の集積 —

日立製作所グループやその協力企業を中心に、国内有数の電機産業の集積地として本県のものづくり産業の基盤を形成

農 林 水 産 業

◇農業

農産物の一大生産拠点として、
首都圏の食料供給に重要な役割

◇林業

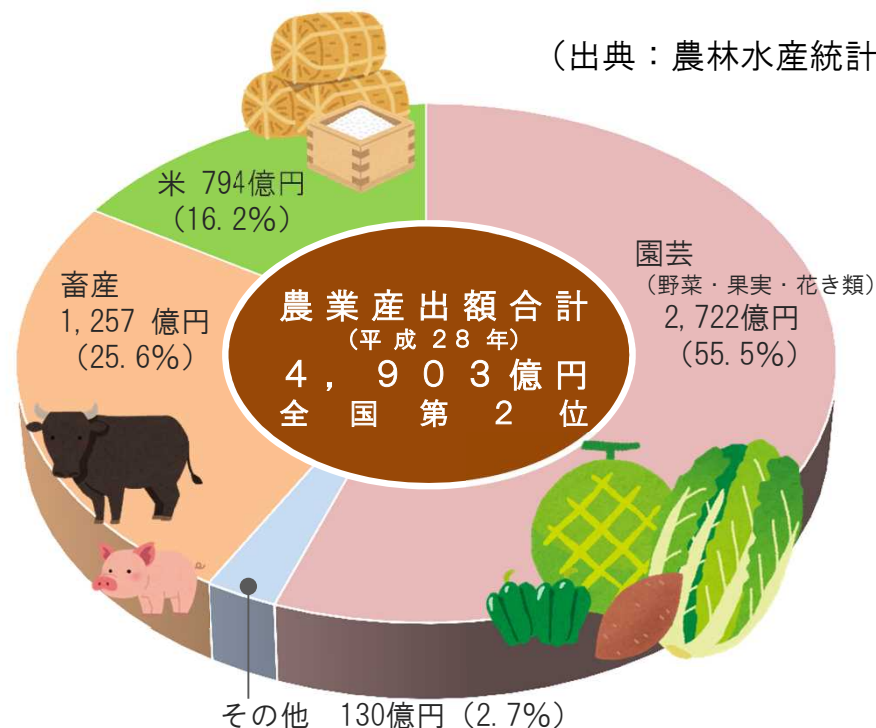
本県の森林面積は県土面積の約1/3
 県北部：山岳林（林業地帯を形成）
 県央～県南西部：平地林

◇水産業

多様な魚介類を育む好漁場での
海面漁業（サバ類，シラス類，ハマグリ等）

霞ヶ浦，涸沼，那珂川，久慈川等での
内水面漁業（ワカサギ，シジミ，アユ等）

（出典：農林水産統計）



水産物 (平成28年)

順位	品目	生産量 (t)	全国シェア (%)
全国第1位	さば類	138,751	27.6
	いわし	90,608	24.0
	こい (養殖)	1,057	33.8
	えび類 (内水面)	242	67.2
全国第2位	しらうお (内水面)	160	27.4
	はぜ類 (内水面)	17	10.6
	あゆ	378	15.8
全国第3位	こい (内水面)	10	4.5

◇H29当初予算

